



# 安全安心だより

～旗振り誘導活動について～

令和8年3月12日

令和7年度No.6

## 1 旗当番につかれるみなさまへ



### (1) はじめに

4月の新学期を控え、子どもたちが安全に安心して登下校できるよう、保護者の皆さんによる「旗当番(旗振り誘導活動)」を開始されるPTAも多いと思います。

特に新1年生にとっては、慣れない通学路での登下校となります。旗当番に就かれる皆さんの温かい見守りと、元気な挨拶での送り出しが、子どもたちの大きな安心感につながります。

朝の慌ただしい時間帯ですが、児童一人ひとりの命を守る大切な活動です。

児童の交通事故は、登下校中のものが多いですが、周囲の大人がサポートすることで防ぐことが可能です。

### (2) 旗振り誘導とは

ア 旗振り誘導活動は、一般的には、主に小学校のPTA活動として、保護者などが交代で通学路の危険な交差点などに立ち、横断旗を使って登下校を見守り、児童が安全に道路を渡れるよう、交通誘導を行う活動を言います。

イ その役割は、児童の登下校中の交通事故を防ぐことと、児童に交通ルールを教えることです。

低学年の児童は、交通ルールについて理解していないことが多いです。学年が上がるにつれ、交通ルールなどを理解していきますが、最初から理解できているわけではありません。先生や大人に教えられて初めて、信号の意味や道路のしくみを理解していきます。

ウ 子どもたちが、自分の目で安全を判断して行動できるよう、「安全な横断方法」を示すことを念頭に旗振り誘導を行いましょう。

### (3) 服装

ア 車から見えやすいよう、できるだけ明るい色の服装にしましょう。

イ とっさの時にも動けるよう、かかとの低い靴を履きましょう。

ウ 雨の日は傘を持つと危ないので、できれば両手が空くレインコートを着用しましょう。



### (4) 立ち位置

ア 看板や電柱の陰になる場所は避け、車からよく見える位置に立ちましょう。

イ 車道には出ないようにしましょう。

ウ 横断旗を上げて、歩道から自動車に合図を送るようにしましょう。

エ 児童以外の歩行者や自転車の邪魔にならない場所を探しましょう。

オ 自動車が止まるために十分な距離があることを確認してから、横断旗を上げて自動車に合図しましょう。

## 2 旗振り誘導のやり方

### (1) 横断旗の使い方

- ア **児童を待たせる時**は、旗を地面と水平に持ち、児童が飛び出さないようにします。車道の近くは危ないので、少し後ろで待たせましょう。
- イ **車に止まってもらう時**は、左右の安全を確認、児童にぶつからないように気をつけながら、旗を頭上に上げ、止まってもらう車に合図を送ります。車はすぐに止まれないので、**余裕をもって合図**しましょう。この時、旗を持っていない方の手で横断歩道をふさぎ、児童が飛びださないようにします。
- ウ 安全に児童が横断できるタイミングになったら、横断旗を45度上方に上げ、児童が渡ることをアピールします。
- エ **児童を横断させる時**は、車が止まったのを確認した上で、再度左右の安全を確認し、旗を道路に出して児童を渡らせるようにします。**児童に手を上げるよう指導**してください。この時も車道に出ないでください。やむを得ず車道に出る場合でも、すり抜けてくる自転車やバイクに気を付けてください。
- オ 児童の横断を誘導します。横断が終わるまで旗は動かさないようにしましょう。
- カ 横断が終わったら旗を下ろし、止まってくれた車の運転手の目を見て会釈するなどして、感謝の気持ちを伝えましょう。
- キ 児童が渡りきったら、旗を持っていない方の手で横断歩道をふさぎ、後続の児童を止めます。



### (2) 注意事項

- ア 慌てる必要はありません。  
車を長く待たせたり、待機する児童の列が長くなったりすると、焦ってしまうかも知れませんが、どんな時も「**安全が第一**」です。慌てずに行動しましょう。
- イ 自分の身も守りましょう。  
旗当番は児童の安全を守る活動ですが、同時に**自分の身も守ってください**。安全な場所で無理なく活動しましょう。乳児や幼児はできるだけ現場に連れて行かないようにしましょう。
- ウ 分かりやすいよう、動作をはっきり行いましょう。  
普段から横断旗を使い慣れていないと、動作が小さくなってしまいますが、中途半端な動作は大変危険です。車の運転手に分かりやすいよう、**動作は大きくはっきり行いましょう**。
- エ 車に指示を出さないでください。  
横断旗に車を止める強制力はないので、**無理に車を止めない**ようにしてください。また、運転手に発進の指示などを行うと、トラブルの原因となることもあるのでやめましょう。

## 3 終わりに

ドライバーは、本来は横断旗が上げられてなくても、歩行者が安全に横断するために止まらなくてはなりません。車を運転する保護者の皆さまがぜひ、子どもたちに正しい交通マナーの模範を日頃から示してあげてください。  
(横浜市ホームページ「通学路はたふり誘導ハンドブック」参照)

